

読む・百人一首 021

素性法師

今来むと

言ひしばかりに

長月の

有明の月を

待ちいでつるかな

いまこむと

いひしばかりに

ながつきの

ありあけのつきを

まちいでつるかな

読む・百人一首 022

文屋康秀

吹くからに

秋の草木の

しをるれば

むべ山風を

嵐といふらむ

ふくからに

あきのくさきの

しをるれば

むべやまかぜを

あらしといふらむ